

第 21 回教育研究審議会

議事概要

開催日：平成 22 年 3 月 17 日（金）

場 所：本部棟大会議室

出席者：今谷明学長、高田理孝副学長、福田誠治副学長、椎廣行事務局長、鈴木武晴学長補佐
阿毛久芳研究科委員長、鶴田清司初等教育学科長、新保祐司国文学科長
儀部直樹英文学科長、前田昭彦社会学科長、大辻千恵子比較文化学科長
杉本光司地域交流研究センター長、浜谷エロイ外国語教育センター長、重原達也学生課長、相川泰総務課長
欠席者：田中一利理事、大平栄子学長補佐、樋渡登学長補佐

■学長挨拶

今谷明学長よりあいさつ

議事

- 昇任候補者について（初等教育学科：投票）
准教授・講師共に投票が行われ、投票の結果信任多数により承認
- 平成 22 年度特任教授等の採用について（投票）
B タイプ 特任教授・准教授
投票の結果信任多数により承認
C タイプ 特任教授
投票の結果信任多数により承認
- 大学院研究科教員資格審査結果の審議について
担当委員より説明、審議の結果、次年度最初の教育研究審議会にて再審議
- 平成 22 年度非常勤講師採用の発議（英文学科）
担当委員より説明、審議の結果、提案通り承認
- 平成 22 年度非常勤講師（比較文化学科：「日本語教授法特論 I」等）発議変更・提案について
担当より説明、審議の結果、提案通り承認
・前任者の代わりとして、臨時採用。復帰可能であれば前任者に受け持ってもらい、無理な場合は改めて採用者を探す
- 平成 22 年度非常勤講師（比較文化学科：「集中日本語(中級)」) 発議変更・提案について
担当より説明、審議の結果、提案通り承認

7. 環境 ESD プログラムについて

初等教育学科教員より説明

- ・教育研究審議会ではプログラムの方向性を検討していき、科目の中身に関しては教務委員会と教授会に預ける方がいいのではないかと
- ・方向性の確認は出来ているので、カリキュラムについては教務委員会で検討して進めていく

8. 都留文科大学学部履修規程の一部を改正する規程（案）について

担当委員より説明、審議の結果、提案通り承認

9. その他

- ・非常勤講師の授業コマ数について

教務委員会での検討の結果、前期:月曜火曜、後期:火曜木曜の2日間ずつとなった

報告事項

1. 教員人事の基本方針及び平成 23 年度教員配置計画について

担当委員より報告

2. 平成 22 年度予算について

財務担当より報告

3. 平成 23 年度学外研究員推薦について

担当委員より説明

- ・各学科で審議してもらって、教育研究審議会へ出してもらう
- ・辞退者が出た時の対処としては、異なる学科から候補者が出てくるのでそこで調整をかけて行く

4. その他

- ・大学院英語英米文学専攻について資格審査委員会を設けたが、まだ条件が揃わないので提案が出来ない状況である